

ことばの名人

はじめに

あなたは国語の勉強が好きですか。

国語はすべての科目の土台です。国語が強くなれば、他の科目の勉強も自然に得意になります。では、国語に強くなりたい人にだけそと、その秘密をお教えしましょう。

それは、今からたくさんの「ことば」を覚えることです。そして、次にそれを使いこなせるようにすることです。そうすれば、いろいろな文章の内容もよく理解できるようになるし、作文も上手になります。

本書は、あなたの「ことば」の数をどんどん増やし、あなたを国語好きにするために作られています。そのために、各回の最後にある「家庭学習用課題」をきちんとやりとげることは特に重要です。ぜひ本書を最後までやりとげ、「国語の名人」になって下さい。

本書の3大特色

1. 入試に必要とされる「ことば」をマスターできる。

国語の入試問題によく出題される説明文や論説文には難しい「ことば」がたくさん使われています。

また、「傍若無人」などの四字熟語や「寄らば大樹の陰」などのことわざもよく出題されています。入試では、それらの意味がわからないと問題を解くことができません。本書は、過去の入試問題に出題された重要かつ頻度の高い「ことば」を重点的に収録しています。そのため、本書をやりとげれば、効率的に国語の得点力アップをはかることができます。

2. 「ことば」の数を増やし、それらを使いこなすことができる。

本書の「家庭学習用課題」には次の3つの大きな意味があります。

- (1) 問題の解答以外の意味やその他の重要語もとり上げているので、「ことば」の数をさらに増やすことができます。
- (2) 辞書で調べたり、文章を音読したりと、「ことば」を様々な方法で学習するために、知らず知らずのうちに国語力をつけることができます。
- (3) 重要語を使った短文作りを通じ、その「ことば」を使いこなせるようになります。

3. 社会科にも役立ち、作文・小論文の力もつく。

本書は、日本国憲法や公民分野からの文章も収録しています。これによって、社会科の知識も増え国語以外の教科書を読みこなす力もつきます。また、重要な「ことば」を使って文を作る課題をこなすことで、作文力がつき大学入試に必要な小論文を書く力も養成できます。

1 次の空所に当てはまることばをア～エから一つ選びなさい。

- ① 外国人との（ ）交渉は彼のような人が適任だ。
 ア 著しい イ わずらわしい ウ とげとげしい
 エ すさまじい

- ② 子供に向かって母親は、まったくあきれた子だと顔をした。
 ア 甘い イ 渋い ウ 赤い エ 青い

- ③ この店もこの辺りの商店の例（ ）、店じまいは早かった。
 ア になく イ をあげて ウ にもれず エ とはいえ

2 次の傍線の意味として正しいものをア～エから一つ選びなさい。

- ① それは見るもおぞましい、この文明化された世界に存在を認めがたい光景だった。

ア 悲しい気持ちにする イ 同情したくなる

ウ いやな感じのする エ 汚らわしい

- ② 彼は中学教師のかたわら、遺跡の発掘に携わっている。

ア なまけて イ その一方で ウ そばで

エ 助けながら

- ③ 母はその日、やつきになって家事を終わらせようとしていた。

ア 真剣に イ いやいやながら ウ 手際よく

エ むきになって

3 次の空所に当てはまることばをア～エから一つ選びなさい。

- ① 時には天然の処理場にもなる湖の働きは到底河川では（ ）できない。
 ア 裏打ち イ 網打ち ウ 太刀打ち エ 綿打ち

- ② 彼はそのときずっと体中の（ ）がひいた。
 ア 血色 イ 血の気 ウ 寒気 エ 潮

4 次の①～③に当てはまることばをア～エからそれぞれ一つ選びなさい。

ところで、そうやって日記に考えを書きつけていくと、「こ

れってちょっと」^①（考えたなあ」とか「やっぱりこれで

いいんだ」と思うことがある。つまり浮かんできた考えに

（^②）を覚えたり、深く納得したりし始めるのだ。こうし

ていつのまにか考えを吟味・検討する（^③）の作業が始ま

る。この作業をはつきりと意識して行うなら、それがそのま

ま論文になるのである。【北海道】

- ① ア 勝手な イ 勝手が違う ウ すばらしい

エ ご存じの

- ② ア 満足感 イ 違和感 ウ 絶望感 エ 優越感

- ③ ア 半信半疑 イ 粉骨碎身 ウ 自問自答

エ 疑心暗鬼

1

③	②	①
---	---	---

2

③	②	①
---	---	---

3

②	①
---	---

4

③	②	①
---	---	---

第1回 解答と解説

- 1 イ… 面倒で気が重いこと。
② イ… ここでは「機嫌が悪い」様子を表す。
③ ウ… 「例にもれず」は「一般の例と同様に例外ではなく」の意味。

- 2 ① ウ… 見てぞつとするような場面で使う。
② イ… 「自分のかたわらに置く」のようにも使う。この場合の「かたわら」は「そば・近くに」の意味。
③ エ… 「躍起」と書く。「躍」は高くはねあがる意を表す。

- 3 ① ウ… 「太刀打ち」とは、もともと刀で戦うこと。
② イ… 「血の気」は「顔の血色」の意味。
- 4 ① ア… この「勝手」は「わがまま」の意味。
② イ… 調和がとれていない感じ。
③ ウ… 自分に問いかけて、自分で答えるようにして考えること。

より広い知識のために

第1回 家庭学習用課題

月 日

- (1) 日常あなたにとって「わずらわしいこと」とはどんなことか。
(2) 「渋い色」とはどんな色か。
(3) 「見るも（おぞましい）」の（ ）の部分_を他の表現にして短文を作りなさい。
(4) あなたにとって「到底太刀打ちできない」のは、だれに対する、どんなことですか。
(5) 「やつきになって」を使って短文を作りなさい。
(6) 「身体に違和感を感じる」とは、どういうことですか。
(7) 次の文章の傍線部に注意して音読しなさい。

日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。

（日本国憲法前文より）